



未来いまカラダシンポジウム
食育SATシステムを利用した栄養指導



尼崎市市制100周年記念「未来いまカラダシンポジウム」・
尼崎市医師会設立100周年記念「第1回尼崎市適塩化(減塩)フォーラム」が都ホテルニューアルカイクで5月8日に開催されました。

人間健康学部食物栄養学科の先生方が、市内に住む方々の食生活の意識向上のために食育SATシステムを用いた栄養指導ブースを開設しました。

食育SATシステムとは、フードモデル(食べ物の模型)をトレイの上に乗せるだけで瞬時に栄養価を計算し、その結果をもとに栄養指導ができるというものです。

今回のイベントでは「昨日食べた夕食」または「普段の平均

的な夕食」のフードモデルを選んでもらい、栄養価の分析を行いました。

利用者は幼児から高齢者までの男性70名、女性181名の計251名で、興味を持ってゲーム感覚で楽しんでいただけました。健康意識が高い方が多く、栄養指導も熱心に耳を傾けている方が多数見受けられました。中には福祉施設の職員や専門職の方なども見られ、このようなイベントをもっと行ってほしいと要望もいただきました。

今後も様々な市民向けのイベントで食育SATシステムを活用し、市民の食に対する意識の向上に役立てたいと思います。



つなGirl

2016年度の目標
深めよう！つながりの輪
～もっと身近に！もっと強く！～

私たち、学生地域連携推進委員会(愛称:つなGirl)は、学生会組織の中の一つです。2014年度に発足し、今年で3年目になりました。本学の学生が、尼崎をもっと好きになってもらえるように日々取り組んでいます。

2年目となる昨年度は「タテにもヨコにもつなげよう、めざせ!つながり100」をテーマとして、16のイベントを通して、60の団体とつながりました。昨年10月のけやき祭に開催したキッズフェスティバルという子ども向けイベントでは、学内外の13団体のブースに190人もの子供たちが参加してくれました。3年目を迎える本年度は、「深めよう!つながりの輪～も

っと身近に!もっと強く!～」をテーマとしています。これには、つなGirlを身近な存在にして、学生と地域をつなげていくという目的があります。地域活動を盛り上げていく理想的なつながりができれば、さらに別の学生たちともつながっていくでしょう。

具体的には、学内でボランティア写真大賞「1番いい笑顔で賞」を募集すること、学外では尼崎の穴場の「あまば」を広めることを目指していきます。つなGirlは、学生と地域の方々とを仲介し、学生にもっと積極的に地域活動してほしいと願っています。

No.6
2016.June



〈地域〉と〈大学〉をつなぐ
経験値教育プログラム



Newsletter

園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
地域連携推進機構
〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1
TEL: 06-6429-9921 FAX: 06-6426-2307
E-mail: chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp



JAXA宇宙飛行士 星出彰彦氏講演会 宇宙飛行士、尼崎に降り立つ

2016年5月21日(土)に、尼崎市主催、
本学共催で、尼崎市市制100周年事業「星
出彰彦JAXA宇宙飛行士講演会『尼崎に宇
宙飛行士がやってくる!』」が本学を会
場として開催されました。

今回のイベントは尼崎市市制100周年で
あり、尼崎市立衛生研究所が開所50周年
であることから企画されました。「未来
の科学者を夢見る子どもたち」に「ワクワク」「ドキドキ」する科学講座として、宇宙科学について実際に宇宙空間に行かれた宇宙飛行士の方のお話を聞かせていただき、「未来を担う子どもたち」に、大きな世界で科学者になるという夢を持ってもらうことが目的です。

尼崎市内の小中学校に配布されたチラシや市内各所に掲示されたポスター、新聞記事などを見た市内在住、在学の親子450名にご参加いただきました。本学からは総合健康学科の学生11名がボランティアで会場への誘導などを担当しました。

星出さんは映像を使って宇宙飛行士や
宇宙ステーションなどの説明をされた
後、参加した子どもたちからの質問に答
えてくださいました。質問した子の目の
前まで行き、ひとつひとつ楽しく丁寧に
回答されていました。無重力の話や宇宙
ステーションの窓から見える地球の話、
宇宙での実験の話などの回答に、質問し
ていない子どもたちも質問者に向き合っ
てお話しされる星出さんの様子に夢中にな
り真剣に聞き入っていました。

最後に回収された参加者の感想から
は、「自分の夢の実現に頑張ろうと思っ
た」や「大変そうだけど宇宙飛行士にな
りたい」などの夢を語る子から、更には
、星出さんの誠実に触れて「星出さん
に出会えてよかった」、「こんな大人
になりたい」という感想まであり、子
どもたちに大きな夢を抱いてもらえたと思
います。





地域志向科目「つながりプロジェクト②」
『笑いによる健康寿命延伸プログラムの開発』

「笑い」のある生活は、人の心と身体をより良い方向へと導いてくれます。また、「笑い」はコミュニケーションを円滑にし、人生を豊かなものにします。

学生は、高齢者の健康と「笑い」の関係性について考えるとともに、日常生活の中にある実情や課題を見つけながら、それを「笑い」につなげていくことで、健康寿命延伸プログラムを開発・実践します。

初めに、松竹芸能（株）が開発した「笑育」※で、学生の論理的思考力、表現力、コミュニケーション力を育成します。5月12日は、ゲストスピーカーにお笑い芸人チキチキジョニーを迎え、漫才の発表をしました。漫才を作り出すためには、思考力・発想力・イメージ力、共に舞台に立つ「相手」と協働する力など、高度に複合的・総合的な力が必要とされます。漫才を作る過程で求められる様々な態度・技能を身につけることができれば、事後的に発想力・プレゼン力・コミュニケーション力が養われることになります。

まず、コミュニケーションを図るために、グループで嫌いなものを共有する「偏嫌マップ」を作成しました。互いに共感することで、会話の糸口を見つけます。その後、チキチキジョニーのお手本漫才を觀賞し、漫才づくりのポイントを学びました。授業の最後には、全てのコンビが、堂々と漫才を披露することができました。学生の感想からも、自信を持って発表できた様子が伺えます。

「漫才をするなんて絶対ムリって思っていたけど、何とかできました！とても楽しかったし、人前に出ることが怖くなくなってきたし、機会があればまたやりたいと思いました。」

「全然話したことがない人と、コンビを組んでするのは戸惑いでしたが、気がつけばすごく打ち解けて楽しかったです。」

今後は、笑育で学習した様々な能力を活用し、地域課題の解決に向けた取り組みを行います。

つながりプロジェクト② 担当：宮島友香

※笑育とは、松竹芸能が開発した漫才づくりを通して、思考力、コミュニケーション力などを育成することを目的としたプログラムです。



地域志向教育研究

『尼崎市に住む高齢者のための運動交流プロジェクト開発と実践』
「PAPER PLANE 運動プロジェクト IN あまがさきーふんわりと、そして力強く未来へー」

高齢者にとって住み慣れた地域で健康に過ごすということは、重要なテーマです。そのためには、現在の日常生活動作や生活範囲を維持するための適度な運動を継続することが大切です。運動には、骨・筋肉の量や機能の維持、生活習慣病(糖尿病・高血圧など)、嚥下機能(食べ物を飲み込む力)の維持、認知症予防に効果があります。また、地域をあげて運動に取り組むことがコミュニティの活性化につながります。

平成25年度より、本学の藤澤政美教授、社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会と共にPAPER PLANE運動プロジェクトに取り組んできました。今回は、平成27年度の活動と平成28年度の活動予定についてご報告します。

- 平成27年度の取り組み
平成27年度は以下のことに取り組みました。
1) 運動の実践と運動実施3ヶ月後・6か月後の効果測定
運動の効果が認められ、DVD作製につながった。
- DVD作製（監修：藤澤政美）
- 尼崎市地区まつり・本学学祭他イベント参加（参加者：地

域の方々、本学学生、卒業生、バンドReverb)
4) 4か所の地域でこの運動に取り組むグループが始動

- 平成28年度の活動について
平成28年度は以下のことに取り組みます。
1) 運動推進リーダー養成
2) この運動に取り組みたいグループ募集
3) 尼崎市地区まつり・本学学祭他イベント参加
4) 地域の方々、学生による新しいリズム運動の作製・普及
5) つながりプロジェクトとして、本学2年生が地域の運動グループとともに運動交流する

これからも、人と人を紡ぎ、人と運動を紡ぎ、人と地域を紡ぎ、人と健康を紡ぐ…そんなプロジェクトでありたいと考えています。

園田学園女子大学
人間健康学部人間看護学科
林谷啓美



地域志向科目「つながりプロジェクト⑬」
『江戸時代の尼崎藩～特に尼崎城～』

「江戸時代の尼崎藩～特に尼崎城～」
このテーマを選んだのは、尼崎の若者たちに郷土(=尼崎)への誇りを持ってほしい、とたく尼崎というマイナスイメージが強いのですが、歴史(特に尼崎城や尼崎藩)を学ぶことで誇りにつなげてほしい、女子大生にもこのテーマで学んではいいと思ったからです。4月当初、学生たちは「歴史への興味」を大いに持っていたわけではなく、これから頑張りますという程度でしたが、授業を進めていく中で「そんなこともあったのか」という感じに変化し、最近はずっと興味が増してきている様子です。

去る5月19日、尼崎城の説明を受けるために尼崎城があっ

た場所=城内にある文化財収蔵庫の見学に全員で行きました。私たちの授業は5時間目ですので、バスで移動して現地に到着するのが5時過ぎ、文化財収蔵庫の閉館時間は5時30分。ほとんど時間が無い状況でしたが、学芸員の室谷さんは6時近くまで熱心に説明して下さいました。

室谷さんが説明の途中で時々質問されるのですが、それに答えられる学生もちゃんとして、私としては満足した気分で見学を無事終了することができました。今後も歴史への興味を高め、近々再建される尼崎城を中心とした「まちづくり」案を発表出来ればと思っています。

つながりプロジェクト⑬ 担当：正岡茂明

